

『健食サプリ・ヘルスケアフーズレポート 2023』発刊

「コロナ禍中よりも健康を気にする」割合は52%。「抗ストレス対策」などを目的とした健康食品・サプリメントの利用が増加

株式会社インテージヘルスケア(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:村井 啓太、以下インテージヘルスケア)は、生活者 13 万人へのアンケート調査からセルフヘルスケア(生活者の健康消費・活動)に関わる市場実態をまとめた『健康食品・サプリメント+ヘルスケアフーズ+セルフヘルスケア市場実態把握レポート 2023 年度版』(以下『健食サプリ・ヘルスケアフーズレポート 2023』)を12月12日に発刊します。

高齢化が進み、増え続ける医療費が課題となっている昨今、「セルフヘルスケア」への期待が高まっています。また、コロナ禍を経験する中で、健康であることの重要性や価値も改めて認識されるようになりました。市場全体の把握、商品・サービスの企画、ニーズボリュームの確認、販売チャネル選定など、幅広い目的に活用いただける本レポートより、最新の市場動向の一部をご紹介します。

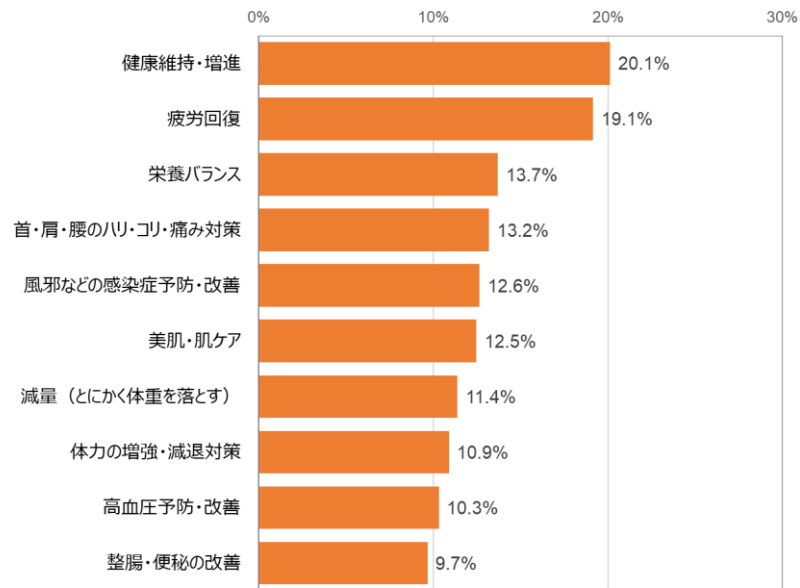
■健康食品・サプリメント市場動向

- 2023年度の日本の健康食品・サプリメント市場規模(弊社推計)は1兆2,385億円で、対前年-9.8%と減少。同利用者数(弊社推計)は4,968万人で、対前年1.6%減少した。また、1人当たり平均購入金額は24,928円で、対前年8.3%減少した。
- 性年代別にみると、1人当たり平均購入金額で「男性」が対前年6.9%、「女性」が9.3%減少した。1人当たり平均購入金額で減少幅が大きいのは、「男性20代」-30.6%、「女性10代」-27.9%、「男性60代」-12.7%となっている。
- ヘルスベネフィット別に顕在市場規模をみると、「健康維持・増進」がトップ。以下「美肌・肌ケア」、「栄養バランス」、「疲労回復」、「関節の健康」の順位となった。対前年の動きをみると、「発毛・育毛、抜け毛・薄毛対策」が12.9%、「下痢の予防・改善」が8.3%増加した。一方で減少幅が大きいのは「ガン予防・改善」で29.6%減少した。 ※弊社規定のヘルスベネフィット47種類中

■コロナ禍収束後のセルフヘルスケア意識・行動

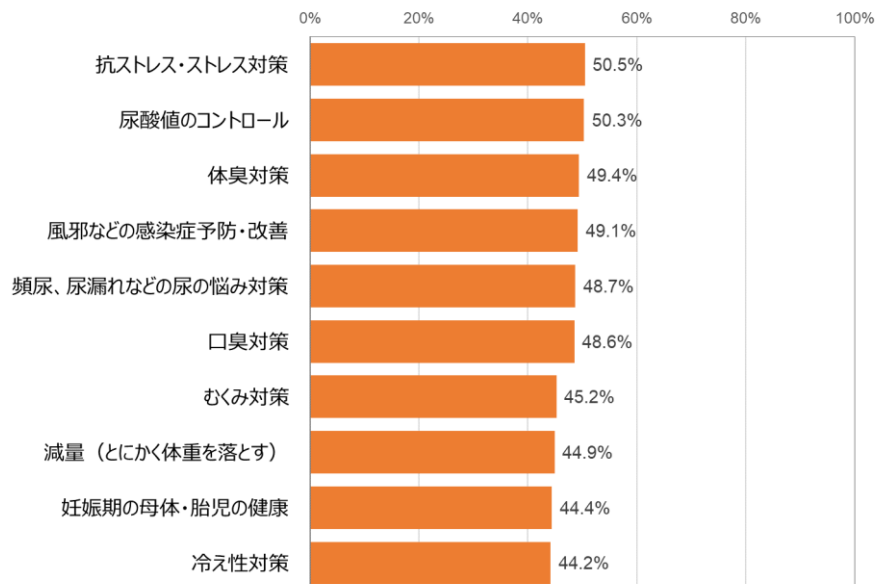
- コロナ禍も収束し、生活者のセルフヘルスケアへの意識が変化した。健康に関心がある生活者の半数以上(52%)が、コロナの流行が収束したことやそれに伴う行動様式の変化により、「健康に関わることでコロナ禍中よりも気にするようになったことや、新たに気にするようになったことがある」と回答している。特に「健康維持・増進」、「疲労回復」、「栄養バランス」、「首・肩・腰のハリ・コリ・痛み対策」などでその傾向が見られた。(図1)
- セルフヘルスケア市場への直接的な影響も出ている。コロナ禍中よりも健康食品・サプリメントの利用を増やしたことや、新たに健康食品・サプリメントを利用し始めたヘルスベネフィットをみると、「抗ストレス・ストレス対策」、「尿酸値のコントロール」、「体臭対策」が上位となっている。行動様式の変化に伴うストレスの増加や人に直接会う機会が増えたことなどが、生活者の消費活動に影響を与えていると考えられる。(図2)

(図1)「コロナ禍中よりも気にするようになったことや、新たに気にするようになったことがあるヘルスベネフィット」の上位10項目



(複数回答、ベース:健康への関心についてコロナの影響がある人、n=43,958、調査時期 2023年8月)

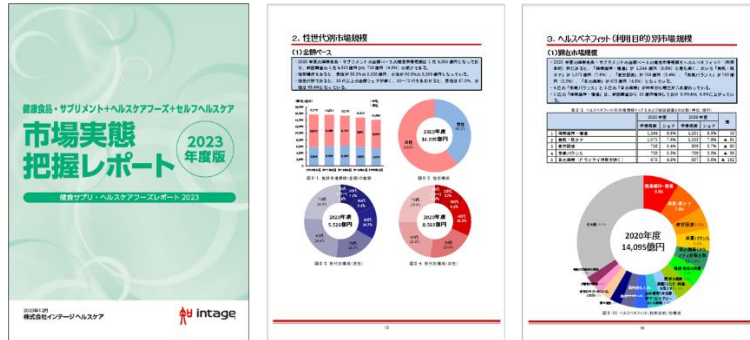
(図2)「コロナ禍中よりも健康食品・サプリメントの利用を増やしたことや、新たに健康食品・サプリメントを利用し始めたヘルスベネフィット」の上位10項目



(複数回答、ベース:各々のヘルスベネフィットに対する健康食品・サプリメントの対処者、n=11,949、調査時期 2023年8月)

■健食サプリ・ヘルスケアフーズレポート 2023 概要

2012 年度に発刊を始めた本レポートは、漸次発展しつつ今年度で 12 年目となり、延べ 340 社以上に提供実績があります。今年度は、生活者 13 万人以上に対する大規模サンプリング調査を行い、「健康食品・サプリメント市場」「ヘルスケアフーズ市場」「セルフヘルスケア市場」の 3 つの市場で、市場規模推計や商品・サービス利用者の分析結果をサマリーレポートにまとめました。最新のセルフヘルスケア市場の実態把握を通じて、皆さまの課題解決やビジネス拡大の一助となれば幸いです。



レポート名	健食サプリ・ヘルスケアフーズレポート 2023 (健康食品・サプリメント+ヘルスケアフーズ+セルフヘルスケア市場実態把握レポート 2023 年度版)
納品物	調査サマリーレポート(PDF)、EXCEL データシート(レポート掲載外の数表含む)
お見積	上記一式：45 万円(税抜き)
オプション	セルフヘルスケア・データベース 2023 (調査結果の ALL データ集計セット)：200 万円 ※貴社内で自由に集計できます
レポートのサンプル	レポートのサンプルは下記ページよりお問い合わせください。※ (株) インテージのウェブサイトへリンクします https://form.k3r.jp/intage/healthcare2023.html

調査・分析概要

	健康食品・サプリメント 全国 10.7 万人調査	健康食品・サプリメント 健食サプリ現使用 2 万人調査	ヘルスケアフーズ&セルフヘルスケア 全国 1.2 万人調査
対象者	日本全国の生活者、 15-79 歳男女	健食サプリ現使用者、 15-79 歳男女	日本全国の生活者、 15-79 歳男女
サンプル サイズ	n= 107,063	n= 20,823	n=12,384 & n=12,461
主な 調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 健康や美容で気にしていること、関心 ✓ 健康や美容の対処、対処意向 ✓ 健食サプリの購入金額 ✓ 原料(成分・素材)の認知、使用意向 ✓ 機能性表示食品制度の浸透実態、購買動向 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 健食サプリの購入実態・意識 ✓ 健食サプリの利用実態・意識 ✓ 主使用健食サプリのメーカー、成分、剤形、利用目的など 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ヘルスベネフィット別の対処動向(医薬品、食品・飲料、生鮮食品、健食サプリなど) ✓ ヘルスベネフィットと食品・飲料カテゴリ、生鮮食品の品目との相互関係 ✓ セルフヘルスケア計の年間支出金額 ✓ セルフヘルスケア別の年間支

	✓ コロナ禍の健康意識・市場への影響	出金額 ✓ コロナ禍の健康支出への影響
対象ヘルスベネフィット	ヘルスベネフィット 47 種類	ヘルスベネフィット 20 種類 ※47 種類から集約
対象原料/食品	原料 70 種類	一般加工食品 99 種類
調査手法	インターネット調査(実査期間：2023年8～9月)	

調査分析の対象(ヘルスベネフィット/原料について)

ヘルスベネフィット (47 種類)	健康維持・増進	脳機能改善	ガン予防・改善	栄養バランス
	体力の増強・減退対策	目の健康(ドライアイ除く)	妊娠期の母体・胎児の健康	特定の栄養素の補給
	体質改善	ドライアイ対策	授乳期の母親・乳児の健康	高血圧予防・改善
	精力の増強・減退対策	口臭対策	更年期障害対策	血糖値のコントロール
	疲労回復	口内炎対策	血行促進・血流改善	体脂肪の抑制
	感染症予防・改善	下痢の予防・改善	貧血予防・改善	血中脂質の抑制
	骨の健康	整腸・便秘の改善	美肌・肌ケア	肝機能の保護
	関節の健康	頻尿、尿漏れなど尿の悩み	体臭対策	血液サラサラ
	筋肉強化	生理痛・生理不順	花粉症などのアレルギー対策	尿酸値のコントロール
	首・肩・腰のハリ・コリ・痛み	むくみ対策	抗ストレス・ストレス対策	減量(とにかく体重を落とす)
	発毛・育毛、抜け毛・薄毛	冷え性対策	不眠・睡眠障害対策	痩身(スタイル良くスリムになる)
	認知症予防	抗酸化・老化予防	活力増進(やる気アップ)	
	原料 (70 種類)	CBD(カンナビジオール)	オルニチン	酢
DHA・EPA(オメガ 3)		牡蠣	スッポン	ブルーベリー・ビルベリー
DNA・RNA(核酸)		カテキン	セラミド	プロテイン
GABA		カルシウム	大豆イソフラボン	プロテオグリカン
HMB		ギムネマ	鉄	プロポリス
L-カルニチン		葛の花由来イソフラボン	難消化性デキストリン	ポリフェノール
L-テアニン		グリシン	乳酸菌・ビフィズス菌・プラズマ乳酸菌	マカ
NMN		グルコサミン・コンドロイチン	ニンニク	マルチビタミン
亜鉛		クロレラ	ノギリヤシ	マルチミネラル
青汁		桑の葉	バラ(ローズ)	ミドリムシ(ユーグレナ)
アスタキサンチン		酵素	ヒアルロン酸	葉酸
アミノ酸		コエンザイム Q10	ビール酵母	ラクトフェリン
アルギニン		ゴマ・セサミン	ビタミン B 群	リコピン
アロエ		コラーゲン	ビタミン C	ルテイン(マリーゴールド)
イチョウ葉		サラシア	ビタミン D	レスベラトロール
イヌリン		シトルリン	ビタミン E	ローヤルゼリー
ウコン		しょうが(ジンジャー)	フォースコリー(フォースリー)	
エクオール	食物繊維(ファイバー)	プラセンタ		

【株式会社インテージヘルスケア】<https://www.intage-healthcare.co.jp/>

株式会社インテージヘルスケアは、ヘルスケア領域のマーケティングリサーチおよび医薬品開発・製造販売後調査・安全性業務支援をコアビジネスと位置付けています。インテージグループのヘルスケア領域を担う各社※と一体となり、ソリューションを提供。それにより、ヘルスケア領域のあらゆる課題に対して、「医療消費者」起点のデータの価値化による、最適な意思決定をサポートしていきます。

※ 株式会社協和企画、株式会社インテージリアルワールド、株式会社プラメド、Plamed Korea Co., Ltd.

【本件に関するお問い合わせ先】

■ 株式会社インテージヘルスケア

健食サブリ・ヘルスケアフーズレポート担当

Mail: ihc-hcf-marketing@intage.com

お問い合わせフォーム: <https://www.intage-healthcare.co.jp/contact/service/>

【報道機関からのお問い合わせ先】

■ 株式会社インテージヘルスケア

経営企画本部 経営企画部 広報担当: 川畑(かわばた)・深谷(ふかや)

TEL: 03-5294-8393(代)

お問い合わせ: pr-ihc@intage.com